

ハイマート Heimat

ぐんま日独協会会報

1995年 4月2日 発行

11 設立7周年
会員特集号

発行者 平形義人
発行所 ぐんま日独協会

〒371 前橋市三俣町3-11-12
☎ 0272-31-7212 FAX 0272-32-4082



・ぐんま日独協会クリスマスの集い

・平成6年12月10日

・群馬会館地下食堂

■ハイマート11号の主な内容■

- ぐんま日独協会設立7周年大会のご案内
- ディークマン大使の歓迎次第
- ギター演奏とクリスマスの集い
- 会員によるクイズ・話題文芸などの投稿
- 料理の紹介
- 本の紹介

お知らせ

ディークマン大使歓迎

ぐんま日独協会7周年記念大会

- ・日時 '95.4.23(日) PM0:30~4:30
- ・場所 群馬会館1F「大理石の間」
- ・費用 参加費1人2千円及び平成7年度年会費
(個人3千円 家族5百円 法人1口1万円)を
同封の振替用紙にて4月15日までに振込み下さい。
欠席の方は年会費のみ

当日は駐日ドイツ大使ディークマン夫妻を来賓としてお迎えます。又、前駐日大使木村敬三先生の講演も行われます。多数の会員の皆さんの参加をお待ちしております。

- ・駐車場は県庁・市役所をご利用下さい。

題字：平形義人 表紙写真：石井直人

7周年に際して

ぐんま日独協会会長 平形 義人

我が国で最も誇るべき素敵なイメージをもつ国際都市神戸西宮地方が去る1月17日の阪神大地震の為にあって云う間に廃墟に帰した。神戸日独協会黒崎勇理事長の便りに依れば三階に入居中の神戸国際会館は損傷甚しく取壊しと決り、図書や資料等は神戸ドイツ学院や岡山の日独会員のヴェーホテルに依管し、会員の消息を調査中とのこと、一日も早き復興をお祈り申し上げます。又大阪・神戸ドイツ総領事館も共に罹災の由、心からお見舞い申し上げます。

又ドイツでもボンやケルンで大洪水があったと云うニュースには驚かされました。遙かに御見舞いを申し上げます。

さて、ぐんま日独協会では来る4月23日設立7周年大会を群馬市群馬会館で催すことと決まりました。新任のドイツ連邦共和国大使 Dr. Heinrich D. Dieckmann 夫妻と、木村敬三前駐独大使を御招待します。ハイマート10号でお知らせしました様に大使は59才のエリート外交官で、夫人はアデナウワー元大統領のお孫様と承ります。

思えば本県では設立以来 Dr. H. J. Harrier 大使御一家、R. E. Jung 公使御一家、W. Haas 大使御夫妻(2回)、ベルリン日独センター甲斐文比古総裁、江尻進、園田和朗東京日独協会副会長、吉田茂孝同常務理事、常木實同理事、藤田眞之助、古池好、小塩節、Dr. Josef Kreiner(同評議員)等の来賓をお迎えして、ベルリンの壁の崩壊、東西ドイツの合併、EU加盟、連合軍の完全撤兵等々の諸問題を生き生きと承ることが出来ました。特に日本語の達人の Dr. W. Schulte 参事官には何度も御来県下さったので会員に沢山のファンが出来て、天皇陛下の訪独の折のTVニュースで活躍していると拍手が湧く程です。御蔭様で群馬のドイツ親善の心は自然に深く培われています。

昨年度から本協会は企画(角田勤副会長) 渉外(佐藤進一・中沢晃三・木暮金太夫各副会長) 組織(須郷登世治副会長) 編輯(朝雲久兒副会長) 総務(中村鉦一事務局長) お願いして、会の運営進行が非常にスムーズになりました。

昨年の行事としまして、春のフラワーパーク、クロネンベルク(宮城村)まで足を伸ばした役員会、秋のベルリン在住荒憲一のピアノリサイタル(土屋喜代子・田口久美子各常務理事)、又恒例となったクリスマス会には松浦孝久理事の肝いりのチターの演奏があったり、特に W. Haas 大使夫妻送別ゴルフコンペ(伊香保 C. C)があり、思い出深い一年でした。

更に県内で草津は石橋長英先生と東山魁夷先生の指導でベルツ協会が出来、之が核となってベルツ博士の故郷ピーティヒハイム・ビッソングン市と姉妹都市となり32年、毎夏国際音楽フェスティバルを催すことを恒例とし、上田より日光に至るロマンティッシュ姉妹街道の交流を沼田市と共に定着させ、沼田はこのたびフェッセン市と姉妹都市となることが決まり、又ファンタステイシエ姉妹街道の構想もあり、四季の森絵本美術館が7月に開館する。60年前ブルーノ・タウトが2年3ヶ月在住した洗心亭のある高崎市少林山にては栃木日独協会の要請で2回目のミュンヘン大学、エアランゲン大学、レーゲンスブルク大学、日本学料の学生達が研修会を持ち宿泊し、ぐんま日独協会員や共

<御案内> ドイツ連邦共和国大使を囲む有志昼食会

日時 1995. 4. 23(日)
場所 群馬会館地下食堂 11:30~12:20
会費 3,000円
申込 4月15日(土)まで(協会)

<御案内> ドイツ大使夫妻歓迎ぐんま日独協会懇親ゴルフ大会

場所 伊香保カントリークラブ(TEL0279-72-3188)
日時 '95. 4. 22(土) AM8:30集合
写真撮影 AM8:45 スタート9:00 アウト・イン各4組
プレー後 懇親会(I. C. C 食堂)
会費 一万円(プレー費各自負担)
参加申込 協会事務所まで「往復はがき」に①氏名 ②住所 ③生年月日 ④ハンディ ⑤自宅電話番号を御記入の上奮って御申込下さい。(但先着順32名限定)(賞品 優勝、ベストグロ賞、飛び賞、その他)

<御案内> 歓迎 Dr. Heinrich D. Dieckmann 大使夫妻 ぐんま日独協会設立7周年大会

日時 1995. 4. 23(日) 場所 群馬会館
0:30 開場
1:00 開会
国歌
会長挨拶
Dr. H. D. Dieckmann 大使のおことば
群馬県知事 祝詞
来賓紹介
記念品贈呈
2:00 公開講演
「現代ドイツ」 前駐独大使 木村敬三先生
3:00 ドイツ連邦共和国大使夫妻を囲み記念撮影
大使来賓見送り
(休憩)
3:30 総会
1. 議長選出
2. 経過報告 事業計画
3. 会計報告 平成6年度決算
平成7年度予算
4. その他
3:45 懇親会
4:30 閉会

愛女子短大生と交流し、県ロータリークラブでは毎年ドイツ高校生のホームステイが積極的に行なわれ、群馬県は市町村職員の代表をドイツを中心にEUへ派遣している。

群馬大学(医学、工学、教育学)はじめその他の大学、高校、中学、小学、幼稚園までに至る教育機関、各会社、工場、各種団体又個人でもドイツに関心を持っている方が県内には沢山居られる筈です。之等の人々が互いの新旧の経験を語り合い、伝え残す場を提供することがぐんま日独協会の使命です。どうか気軽に御参加、御後援をお願いします。本年も楽しい年であります様に Viel Spass!!



写真左より小林夫妻・ティークマン大使・須郷副会長・平形会長

新ドイツ大使とお会いして

高崎市 須郷 登世治

去る(H6年)8月31日ロシヤ軍、そして9月8日には英米仏軍がベルリン撤兵を完了した。かくて50年に近いドイツの戦後は完了したのであった。この記念すべき平成6年11月14日、全国日独協会の年次総会が、神田の学士会館で行われ、群馬からは、平形、佐藤、中村、須郷の4名が参加した。神田は、私の学生時代の古巣で、昔の赤煉瓦の建物もそのままであった。この会館における会議に出席できたことは、私にはこの上ない喜びであった。

会議の前半は、文部省、外務省、国際交流基金の課長クラスの人々が、留学生の受入れ、派遣についてとくに資金援助と語学教育の必要について説明があった。

後半は、次期会長の選任について、東京の現会長の留任とし、今後の開催地として北海道から札幌でとの提案があったが、資金等で反対意見もあり、あらためて審議することにした。最も心を打たれたのは、新5州(旧東独)の独日協会の代表からの状況報告であった。4年前までは共産国として厚い壁に遮断されていた人々が、国際交流基金の援助により10日間も日本旅行することができたのであるから、その喜びははずばらしいものであったろうし、また感激にみちた挨拶は私たちの脳裏にやきついている。とくに、ワイマルやルターのアイゼナハ城の話は、いつまでも私の頭に残っている。このことで予定時間一杯となったが、私たち日本人の胸を打ってやまなかった。

夜の部は、日比谷のプレスセンターにおいて、新ドイツ大使の講演会が行われた。大使の名前は、ディトリッヒ・ティークマン(Dr. Heinrich-Dietrich Dieckmann, 1935生)。駐日大使として経済問題を円滑にするため、ドイツ系企業の日本進出と日本の一段の市場解放には強い関心がある。これまで日独が互いに尊敬し合ったのは、経済・技術力の影響も大きいですが、親近感には音楽など、文化面によるところが大きい。また文化の理解を高めるには、言葉を理解しなければならない。現状は日本語を学ぶドイツ人より、ドイツ語を学ぶ日本人の方がずっと多い。ドイツ人の日本留学をもっと容易にするには、日本側も規制緩和を進め、滞在費の高さや手続き上の行政的障壁などを取り除くなどの協力が望ましい。等、ユーモアを交えながら外交方針を話された。

最後の懇親会のとき、日本語で「本を有難う」と、挨拶されたのには驚いた。新大使がビールをつぎに来たのであった。シュルテ、クライン両参事官に話したら、大使は日本語を勉強しているとのこと。開会前に、大使に私の「ドイツ憲法の解説」を1冊、謹呈し、ドイツ語で本の内容を少し説明し、大勢の前で握手された、そのお返しであった

と思う。このような会合に出席できたことを嬉しく思っている。参事官を通じて、群馬にも是非、おい出願したいと話したら、必ず行きますとの確約でした。

森鷗外記念館保存基金

草津町 井口 實

昨年8月25日、役員会の時間を頂き記念館維持の方途について提言、早速協会の事業の一つに取り上げて10月31日の“ハイマート”に拙文をのせていただいた。偶然翌月16日の日付で中央より保存基金全国募金通知が届きこれに応じてXマス席上献金3万円を基金に送付、12月14日入金の手紙が届いた。基本財産、最低300万マルク、将来、文化・研究の拠点、情報発信の基地となる由。“舞姫”の舞台、日本文化研究の窓口。記念館保存は親善友好の証となる。

シュミット村木眞寿美さんのこと

前橋市 佐藤 進一

Erwin von Baelz(ベルツ博士)は我が国の近代医学界に大きな足跡を残した人で、現在も尚広く人口に膾炙されている。特に群馬県は温泉医学の面で大変世話になったので、我々にとっても馴染み深い人である。ベルツに関する著書や記録は沢山あるが、彼が結婚した花(はな)婦人に関する事は以外と知らされていない。それは夫人が彼と共にドイツへ帰り、余生をひっそり過したからであろう。第一大戦で連合国に惨敗したドイツでは、日本人女性のことを構っている暇など無かったのである。

作家シュミット村木眞寿美さんは1942年東京生れであるが、大学卒業後ヨーロッパに渡り、1968年からミュンヘンに在住。シュミット医師と結婚し、ドイツ国籍を取得。3人の娘の母となっている国際人である。この度ベルツ夫人の軌跡を尋ね、「花・ベルツへの旅」と云う著書を講談社より出版し、好評を博した。その故か群馬県内で昨年10月27日前橋、29日伊勢崎、30日草津と3回講演会を開くこととなった。

私は10月初旬ミュンヘンへ行く事になっているので、県内における日程の連絡をも含め、面接を申し入れていた。10月11日朝駅前ホテルに投宿する私を彼女は訪ねてくれた。彼女は花夫人と同じ様な境遇におかれた女性として、花夫人のことは凡て分るのである。私は茲数年毎年ドイツ旅行し、各地を廻っているが、ドイツに到着し結婚生活をしている日本人女性は可成り多い事に気付いた。彼女達は各地の独日協会会員であり、遠来の私に対し何かと援助の手を差し伸べて呉れるのである。シュミット眞寿美さんも26年と云う長い年月をドイツで過した訳であるが、それは努力と愛情の蓄積に他ならないのである。その事は彼女の著書「わがふるさとドイツ」(三修社)に詳しく載っている。国際結婚が日常茶飯事となった今日、異文化の中に溶け込むことは、男と女の結合より難しいことを彼女自身は語るのであった。彼女がベルツ夫人を追及する動機を覚えたのも、自分自身の体験から湧き起った心情に他ならぬのである。彼女の今後が永く日独交流の掛橋となることを切望して、ミュンヘンにおける面接をすませた。

◆◆ クリスマス ◆◆



チター演奏者お名前

- 風祭 啓子さん
- 林田 素子さん
- 松浦 恵子さん
- 吉田 慧美子さん

今年のクリスマスの集いでは、恒例のサンタクロースやプレゼント交換の他に珍しいチター演奏会も行われました。会場が静まり、皆聞きほれて、なごやかな雰囲気でした。

チターについて

チターは、オーストリアのチロル地方やドイツのバウアリア地方で生まれ、親しまれてきた楽器です。

5本のメロディー弦と約33本程の伴奏弦から成り、メロディー弦は、各弦に半音階のフレットがついているので、4オクターブの音が出せます。左手でメロディー弦を押さえ、右手で伴奏弦を弾くことによって、多種多様な曲を演奏することができます。一般に使用されているチターは、ピオラの音の高さと同じで、他にバイオリン、チェロ、コントラバスの音域が出せるチターがあります。これからの種類の楽器を使って、ソロばかりではなく、アンサンブルも楽しむことができる幅の広い楽器です。



Xマスパーティに参加して

高崎市 伊藤 廉平

一昨年につづき昨年もXマスパーティにご招待いただき、会員の皆様と楽しく歓談の時を過ごした事は、この上ない喜びでした。会長のご挨拶、副会長の司会進行で会がなごやかに進行致しました。

会員の聖歌合唱、東京から来られたお客様による楽器演奏も加わり会は一般と盛り上がりました。

今日は少し志向を変えて、私の知る乏しい知識の範囲でXマスにまつわるお話を致したいと存じます。

Xマス行事の中で最もたのしみはXマスプレゼントでしょう。その昔セントニコラスと言う慈悲深いおじいさんがおり、まづしい家庭やめぐまれない子供達に温い愛の贈物をしました。

人々はそのおじいさんをサンタクロースと呼び尊敬致しました。又、欧米ではXマスカードを交換する習慣がありますが、その始まりは大英帝国最盛期の女帝ビクトリヤ女王が、その皇孫殿下の安否を気づかい手紙を差し出したのが切っ掛けと言われております。

Xマスツリーは16世紀中期のドイツの宗教改革者であるマルチン・ルーテルが法皇から破門されワルトブルグ城に幽閉されていた時はある夜、満天の空に輝く星を眺めて感激し、ローソクに火をともしてモミの木に吊し、神の栄光を讃美したのが最初であるとも言われております。

その後Xマスツリーには数々の品物が飾り付けられる様になりました。その1つ1つにも理由が秘められております。例えば銀色の鐘には、世界の平和を祈って安らかな音が世の中のすみずみ響きわたる様に。金・銀・緑のキラキラやモールには、希望と若さのしるしとして人間がいつまでも心の青春を失わぬ様に。白雪は純粋でけがれなき、精神を象徴しております。

そして忘れてはならない物が、モミの木のてっぺんに輝く大きな星です。この星こそ、その昔キリストの誕生を予言したユダヤの博士達がベツレヘムの空を指さして人類の救世主であるキリストの出現を告げた星であったのです。この様にXマスツリーの飾付けには、それぞれに貴重な逸話が残っております。

敬けんなキリスト教徒の多い欧米諸国では厳かで静かなXマスの日を過ごしますが、平和で豊かな日本ではXマスの



日は宗教行事とは別にたのしく賑やかに、この日を祝福致します。国民性や宗教感覚の相違から双方とも結構な事と存じます。キリスト様もお笑いになる事があっても怒られる事はないでしょう。

12月24日は過ぎし1年を回顧し、来るべき年に幸多き事を祈る年中行事として日本人の間にもすっかり定着して参りました。

本年もXマスパーティーが開かれるでしょう。

会員の方は元よりご家族の方々も一緒にお出かけ下さい。お待ち申し上げます。

荒憲一リサイタルの御礼と近況

どことなく春の香が微かに感じる今日この頃と成りました。先年10月21日の荒憲一コンサート並びに12月14日のデュオコンサートにつき多数の日独協会各員の皆様及び大勢のクラシックファンの方々に絶大な御協力を給わり心より感激致して居ります。お陰様で盛会に終りました。荒憲一本人より重ね重ね御礼を申し上げて下さいとの事でした。

其の後ベルリン独日会館で本年5月10日又12月にはベルリンのシャウシュピールハウスにてコンチェルトなど予定も有るとの事これも皆様方のお陰と喜んで居ります。少しでも心のやすらぎとなる演奏会を又いつかの日開催したいと思っております。

御礼まで一筆書かせていたたせきました。

日独の国境越えてうた心

いずこの地でも美しきものを

平成7年2月

土屋喜代子

田口久美子

小さなきらめき

『ドイツの偉人とその都市』を読んで

高崎市 朝雲久児臣

昨年の暮れ、ドイツ大使館のシュルテさんからクリスマス・カードと共に、表題の書類が届けられた。書本と見違えるようなカレンダーで、外観の良さだけでなく、内容の適切な文章表現に驚きと素晴らしさを感じたものである。紹介されている偉人は、画家・言語学者・政治家・音楽家・物理学者・作家・哲学者・実業家・建築家・病理学者など多岐にわたり、その数は56人に達している。短文にも関わらず実にすっきりとまとめられていた。19世紀から20世紀にかけて活躍した偉人が半数以上を占めており、これらの人々がライン、ネッカー、エルベの川沿いや、その周辺の湖とか田園地帯から多く輩出していることに気がつく。さらに、かつてのナチス体制に反対し、抵抗を試み、ときに亡命や追放された偉人たちを助けた人々の記録が、多数見受けられた。私は、この二つの事実を発見したとき、こみ上げる感動を抑えきれない衝動にかられたものだった。

たまさかに見つけた「小さなきらめき」を愛でながら、「性急な親しさを求めることなく、人間相互の思想の奥深さを探してゆく交友を長く保ちたい」と、シュルテ参事官にお礼の手紙を認め、送ったものである。(1995・2・24)

ドイツ自動車運転免許証と私

館林市 對馬良一

先日、全国日独協会機関紙の、「Die Brücke」に、ベルリン日独協会事務局長の藤本栄一氏の「ドイツの運転者」(Auto fahrer in Deutschland)の投稿記事を興味深く読ませて戴きました。背中の曲がった白髪の老人がハンドルにしがみつくようにして運転している様子などの記事を読み懐かしい当時の事が思い出されました。

「ドイツの免許証は永久免許証」との事が書いてあったが、私もドイツで言葉の不自由な時に苦勞をして取得したドイツ運転免許証を持っていますが、ドイツでは免許証の更新などなく取得した時に貼った写真がそのままです。太ったドイツ人女性も昔の免許証の写真を見せ、「私も昔はこんなにスマートだったのよ」と得意気に何度も見せられた事か。今の私も、子供達にスマートな体軀の時の免許証の写真を見せ得意になっております。

近年ドイツのアウトバーンも有料になったとテレビで報じていたが、その分自動車税が減税されたとの事、日本とは大違いである。

私達、炭鉱労働者が炭鉱技術習得、日独親善と、労働力の不足を補う目的で三年間、ドイツ市民に溶け込み生活を経験した時は、その後の生き方に大きな影響を与えたことは確かである。昭和33年頃のドイツには、外交官、商社マン、新聞特派員、留学生など、約300名程度より在住していなかった時代であった。

当時の日本では車などごく限られた人だけで、自家用車などの考えられない時代のことである。ヒットラーが軍事物資を運ぶ為に作ったアウトバーンがドイツ復興の基になったことはご承知の通りである。そのアウトバーンを、時速120,30kmの、スピードで矢のように疾走する光景を見て自動車熱にとりつかれ、車のある生活を夢みたものでした。帰国して早や30数年経ちました。昭和25年頃全国に736あった炭鉱も今年の北炭空知炭鉱の閉山で、太平洋炭鉱、三井三池炭鉱、松島炭鉱の三山のみとなり、現在日本は、石炭輸入世界一の国になってしまった事は残念でならない。ドイツの炭鉱で殉職した仲間、帰国後カナダの炭鉱へ渡って殉職された仲間の事を思うとき、日本の炭鉱政策の貧弱さが日本から炭鉱を無くしてしまう原因だったと思います。ドイツでは今でもエネルギー源として約32%の石炭が電力に利用される。懐かしいドイツの自動車免許証を見ると、当時の事が走馬灯のように思いだされる昨今です。

◇原稿ご案内◇

日独交流につながるご感想・情報・会員消息・作品を住所・氏名・職業・年齢・電話番号明記の上、お寄せ下さい。紙面の都合で編集部で手直しさせていただきます。(800字以内)

◎原稿の返却は致しません。宛先は表紙参照。

視点

オピニオン21 (上毛新聞抜粋)

前橋市 田口 久美子

(A)11月初旬恩師や友人に会えるという楽しみを胸に短いドイツ旅行に出掛けた。今日は統一された後のベルリンにも足を踏み入れた。今秋で東西ドイツ統一は五周年になる。ベルリンは今まで西ドイツの首都ボンから再び首都に返り咲くため、開発の波が進みあの美しい都のイメージから、新しい個性のない大都会に変身してしまうのではと一抹の不安さえ覚えるほどであった。

私が西ドイツに滞在している時は、後百年いや永久に東西ドイツの統一などありえない。思想や体制の違いは民族や国をも上まわるものと思えたからである。それにしても現在のドイツは一時的な統一景気もすっかり冷え込み、先日、日本ILO協会発行の月刊紙「世界の労働」に統一ドイツで一番貧乏くじを引いたのが旧東ドイツ地域の女性労働者たちで、社会主義の建前上、失業はなかったはずだが、現在では旧東ドイツ地域の男性労働者の二倍の21%強の失業者がいる。(中略)

勤勉なるドイツ人は、それでも確実に赤字減らしのため頑張っている。ベルリンの壁はなにしろ主要部分はたった2日、そして14日であの丈夫で長さ147kmにわたる壁を造り上げた。(中略)

知人は58才なので、60才定年の前に早期年金受給者として退職し、趣味と活動のために頑張ると言う。ドイツでは定年をだれもが楽しみに待っている。(中略)('94.12.13)

(B)『住めば都』どんな寂しい田舎でも住み慣れば住み良くなって、離れにくくなるものである。これが日本人の文化ならば外国ではどうかと調べてみた。まずドイツの知人は“Wo es mir gut geht, da ist mein Vaterland”「自分にうまくいつている所が祖国だ」。英語では“To everybird his own nest is best”「どの鳥にとっても自分の巣が一番だ」。また“my home is my castle”「わが家こそわが城」と言う。(中略)こうした発想は、何よりも自由を尊ぶ遊牧民族や海洋民族の伝統を伝えるものだが、同時に近代の国民国家を超える人権思想にも連なっている。(中略)外国のことわざを調べるほど「住めば都」の私たちの考え方は島国根性から一歩も抜け出しておらず、スケールの違いを再認識させられてしまった。('95.2.5)

Berlin Macht Spaß (ベルリンって面白い)

川口市 松浦 あきの

一昨年の夏、ベルリンなどドイツを旅行した。一応はハネムーンという名目だったが、半分は主人のメモリアル旅行だったような気がする。一般の人が、おそらく近づかないような場所、例えば「ベルリンの壁」の後の瓦礫の山、電車が通過するだけで閉鎖され廃墟と化した地下の幽霊駅、外壁が所々剥がれ落ち埃にまみれた年代物のアパート、気をつけないとすぐ犬の糞を踏んでしまう石畳の路地裏など。

赤い屋根のあるメルヘンチックなドイツの風景しか知らない私は、少なからずショックだった。しかし、それにも増して「えっ、こんなのあり？」と驚いたことがいくつかある。

まず犬の多いこと。ドイツ人はどうして皆あれほど犬好きなのだろうか。おまけに連れて歩いているのは、ほとんどがシェパードなどの大型犬である。しかもレストランやカフェの中にまで、まったく物おしせず、実に平然と飼い主と一緒に入ってくる。かと思えば電車にまで堂々と乗ってくる。犬が苦手な私は車両の中で思わず通路を譲ってしまったが、チラッと目が会った瞬間、「やーい、おまえより俺の方がドイツ語がわかるんだぞー」と言われているような気がしてガクッときた。万が一、ドイツに長期間滞在するような機会があったら、私の場合、まず犬嫌いを克服することが先だろう。

また、お犬様と同様に私の目をひいたのは、若い女の子たちであった。日本の女の子が飾り過ぎなのか、それともドイツの女の子が構わな過ぎなのか、うまきは言えないが彼女たちは“素材そのもの”といった感じだ。まず化粧っ気というものがほとんどない。擦り切れたジーンズをはき、道端でも駅のホームでも平気で足を投げ出して座り込んでいる。大きなお世話だが、上半身下着をつけずにTシャツ一枚でいるので(夏のことだが)体の線がはっきりわかってしまう。(主人は留学当時、それを見て喜んでいたらしいが…)。ちなみにむだ毛の処理などもほとんどしていないそうだが、いやらしさは微塵も感じられなかった。むしろ、その自然を誇るかのように明るくはつらつと健康的に見えた。ドイツと日本の女の子、一概にどちらかいいと言えないが、少なくともドイツの女の子からは、凛とした自己主張を持ち“中身で勝負”みたいな確たる自信が感じられた。(つづく)

ドイツ連邦共和国 首都：ベルリン 面積：356958.70km² 人口：8110万人 資料提供：連邦統計局 各州面積：1992年12月31日現在 人口：



ブレーメン州
首都：ブレーメン
面積：404.23km²
人口：69万人



ラインラント・プファルツ州
首都：マインツ
面積：19845.54km²
人口：390万人



バーデン・ヴュルテンベルク州
首都：シュトゥットガルト
面積：35751.39km²
人口：1020万人



ベルリン州
首都：ベルリン
面積：889.11km²
人口：350万人



ハンブルク州
首都：ハンブルク
面積：755.31km²
人口：170万人



ザールラント州
首都：ザールブリュッケン
面積：2570.28km²
人口：110万人



バイエルン州
首都：ミュンヘン
面積：70553.90km²
人口：1180万人



ブランデンブルク州
首都：ポツダム
面積：29476.49km²
人口：250万人

クイズ

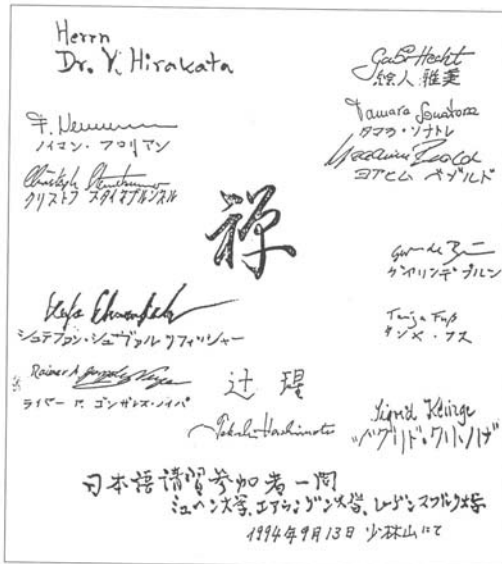
沼田市 角田 勳



Was ist dieser Baum?

カッセルの東約30kmのところ
に、バート・ゾーデン＝アレン
ドルフという町があり。アレン
ドルフの町はずれに、この美事
な木が立ってます。さて、これ
は何の木でしょう？

- ヒント……ヴィルヘルム・ミュラーはこの木をモデルに、ある有名な詩を作りました。“Am Brunnen vor dem Tore……”というシューベルトの曲で更に有名になりました。



- 去る1月17日未明「阪神大震災」発生、日本中を騒然とさせました。一日も早い復興を願ひまして、神戸日独協会へお見舞を致しました。

礼状

神戸日独協会

理事長 黒崎 勇

今般の神戸大震災に際し、心温まるお見舞いの言葉を頂きながら、お礼状が大変遅くなり申し訳ございません。遅ればせながら、会員を代表して心よりお礼申し上げます。

大阪・神戸ドイツ総領事館と共に神戸日独協会が入っていました神戸国際会館は、破損がひどく取り壊しすることとなり、立ち入り禁止となっていました。それでも、内部のものは出来るだけ早く待ち出すようにとの矛盾した通達を受け大変苦勞致しましたが、お陰様で書類や大部分の図書を受けとまず神戸ドイツ学院と、岡山日独協会会員の岡山ヴェーホテル上野社長のご厚意で同ホテルの倉庫に保管させて頂くことが出来ました。

会員の被災状況はまだ充分に掌握出来ていませんが、多数の方々が家を失い、避難いたしております。幸い、現時点では訃報には接していませんが、完全な情報を得るためにはなお数週間かかると思います。神戸日独協会は、新しい事務所に移転するまで、私の自宅を住所とさせて頂きます。ご連絡は上記の住所をお願い致します。2、3ヶ月は毎月の活動を中止せざるを得ませんし、会報の発行も一時見合えますが、一日も早く活動を再開出来ますように努力致しますので、これまでと変わらぬご支援をお願い申し上げます。

慰めと励ましのお言葉に対して感謝の気持ちを込めつつ、近況をご報告申し上げます。

1994.9.11より14までドイツ大学生が高崎市少嶺山の坐禅堂に宿泊研修した。

- 色紙の日本語の署名が、彼等の日本語への熱意を示している。石北徳司(渋川)氏の日本の歌の指導と、平形義人(会長)の宝生流仕舞と陣中見舞があった。左記はドイツ学生のサイン色紙。

1993年3月31日現在



ヘッセン州
首都：ウィースバーデン
面積：21114.28km²
人口：590万人



ニーダーザクセン州
首都：ハノーバー
面積：47347.58km²
人口：760万人



ザクセン州
首都：ドレスデン
面積：18408.11km²
人口：470万人



シュレースヴィヒ・ホルシュタイン州
首都：キール
面積：15731.85km²
人口：270万人



メクレンブルク・フォアポメルン州
首都：シュヴェーリン
面積：23420.71km²
人口：190万人



ノルトライン・ヴェストファーレン州
首都：デュッセルドルフ
面積：34071.50km²
人口：1770万人



ザクセン・アンハルト州
首都：マグデブルク
面積：20442.92km²
人口：280万人



チューリンゲン州
首都：エルフルト
面積：16175.50km²
人口：250万人

■料理■ 私流ザワークラウト

川口市 松浦 あきの

主人と結婚して、FräuleinからFrauと呼ばれるようになり、主婦として私なりに何らかの形でドイツに接触したいと日々思っております。

そこで考えた末に、ドイツの代表的な家庭料理、ザワークラウトに挑戦してみることにしました。

お恥ずかしながら、料理は不得意なうえすべて自己流なので、かなりいいかげんな作り方ですが、簡単なものでよろしかったらお試しください。

◆材料 4人前

- ・キャベツ 1個(500g)
- ・水 100cc弱 ・ローリエの葉 1枚
- ・砂糖 小さじ1 ・塩 小さじ1~1½
- ※・酢 大さじ3½
- ・ねりがらし 小さじ½ ・化学調味料 少々

◆作り方

- ①キャベツを千切りにします。
 - ②鍋に水とローリエの葉を入れ、キャベツを蒸し煮にします。
 - ③その間に※をボールの中で混ぜ合わせておきます。
 - ④水気がなくなりキャベツがしんなりしたら、火を止め熱いうちにボールに移し※をあえます。
- 太目のソーセージをゆでるか(=Kochen)、フライパンで焼いて(=braten)粒マスタードを添えましょう。日本のキャベツはドイツのと種類も違って柔らかなので、通の方々には物足りない歯応えかもしれません。こんな簡単なものでも立派なドイツ料理の一品、味よりも雰囲気を楽しみましょう。Guten Appetit!



草津ベルツの里 御案内

(バーデンファミリエ草津)のくつろぎが展開される「ベルツの里」は開発面積10万㎡のスケールの、10余年にわたる成熟した街。その雄大な草津の自然に抱かれた、海拔1,200mの爽やかな高原の街は、オールシーズン、フル回転。まるで都市のホテルのサービスを手に入れるように、余暇プランのフルコースが味わえるゆきとどいたリゾート拠点です。

明治の初め、ドイツ人のベルツ博士によって、草津の湯の効能が科学的に証明されて以来、高原温泉療養地としての名を世界に知らしめた草津。その息吹はリゾート提唱の地、ペンション発祥の地となって、現代に脈々と受け継がれています。また、ベルツ博士の来日によって新たな交流の第1歩を踏み始めた草津は、昭和37年、博士の誕生地であるドイツのビーティッヒハイム=ピッシンゲン市と姉妹都市関係を締結。

また、日光と小諸市を結ぶ城下町、温泉街、宿場町などを通る「日本ロマンチック街道」もこうした流れの中でドイツのロマンチック街道と姉妹関係を結んで誕生したものです。この街道のちょうど中間地点にある草津はそれ以来、以前にも増して作家や詩人など多くの文人、知識人が訪れるようになりロマンに満ちた名作、秘話で飾られる様になったのです。草津を拠点とした様々なストーリーに触れながら味わい深い旅を綴る・・・。

そんなプランも素敵なアイデアではないでしょうか。情緒ゆたかな温泉の数々、広々としたクワ施設、テニスコート、温泉プール、星空の鑑賞(イオニア天文台)医療施設までリゾートステージとしての快適さが爽りました。また、リゾート気分

に浸りながらシェフの料理に舌つづみ。洋風、和風レストランからワインバーまで多彩です。

リゾートへの道のりは、旅の味わいを深める大切な要素。電車で行く草津、車で行く草津。家族のプランにあわせて「ベルツの里」「バーデンファミリエ草津」への道のりを楽しんでみてはいかがでしょうか。

宿泊体験を御招待申し上げます

* 詳細について別途係員までお尋ねください。

株式会社 亀山社(前橋営業所)
〒371 群馬県前橋市間屋町1-11-4
TEL 0272-52-5314
社長室長 小野澤健太郎

書籍紹介

- Grüss Gott, Tante Mayer!(白倉卓夫)
Leben unter dem Schnee(北越雪譜・鈴木牧之撰 Rose Lesser 独訳 Diederichs Verlag)
昭和天皇のご仁徳(金治勇・独・日・英・花王KK)
異文化の接点(小林喬・三修社 2,200)
もうひとりのブルーノ・タウト(朝雲久見臣 上毛新聞 3,500)
帰ってきたブルーノ・タウト(朝雲久見臣 上毛新聞 2,000)
日本憲法の解説(須郷登世治 中央大学 1,500)
日英独対訳 ドイツ憲法の解説(〃〃 5,150)
英国憲法史の解説(〃〃 5,150)
ケンペルのみたトクガワ・ジャパン(ヨーゼフ・クライナー 六興出版 2,800)
花ベルツへの旅(眞寿美・シュミット・村木 講談社 1,800)

○前号(10号)クイズ 答え

- アイゼンシュタット ~ ハイドン
バイロイト ~ ワグナー
ミュンヘン ~ リヒャルト・シュトラウス
チュービンゲン ~ ジルヒヤー
ザルツブルク ~ モーツァルト
ウィーン ~ ヨハン・シュトラウス
オイティン ~ ウェーバー
オーベルンドルフ ~ グルーバー
ハンブルク ~ プラームス
ライプツィヒ ~ バッハ
ボン ~ ベートーヴェン
デュッセルドルフ ~ シューマン

○11号クイズ答え

- 菩提樹(Lindenbaum)
もちろんシューベルト「冬の旅」の第5歌。
写真の木は2代目のものだそうです。初代のものは80年ほど前、嵐でたおれました。

【編集後記】

◆「クリスマスの集い」は年ごとに趣向が変わってきました。チャターという珍しい楽器の演奏もあり、和やかなムードに溢れていました。新鮮さと話題をひきつけての登場をお待ちしたいものです。

◆2月15日、本年初の役員会を開きました。会議に先立って、「阪神大震災」の犠牲者並びに被災者にたいして、黙禱を捧げ、冥福と災害からの一日も早い復興を祈りました。ついで「ハイマート」の原稿について協議、締切りを2月末日とし、新しい原稿を数人の役員に執筆依頼しました。発行は四月初めの予定です。ご期待ください。

4月23日の7周年大会の講演は、木村・前ドイツ大使に、ということにはほぼ決まりました。次回の役員会は、「ハイマート」の発行された後に開催する予定です。

◆会員の皆さま、今年も「ぐんま日独協会」のために、よろしくご支援とご協力をお願い申し上げます。(朝雲久見臣)